

No 45
31 Oct 2014

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行
NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日
平成 26年10月31日

編集
NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-15
シティーマンション赤坂2階 日本ビジネスライン(株)内
Tel:03-5545-5100 Fax:03-3588-0776



パプアニューギニア独立39周年記念祝賀会に参加して

安藤 弘子 (当協会会員)

ホテルニューオータニへ向かうタクシーの運転手さんに「本館ですか、別館ですか？」と聞かれく違ったら廻って頂きましょう>と思い、まずは本館に着いて、ドアが開き「あーパプア」と言いかけると「こちらでございます」との爽やかな答えに驚きと戸惑いと嬉しさがこみ上げてきました。直行便が週二便になったお祝いの時には同じ問いにボーイさんはちょっと小首をかしげ、バッグについていたワッペンを見て笑顔になり案内をしてくれました。

4年前に PNG へ行った時には空港で現地のスタッフに「ニイハオ」と挨拶をされ何気なく「ニイハオ」と返しましたが、後でそのことの意味を理解しました。

そしてこの小さな二つの体験が PNG の発展の端緒な現れでもあると気づきました。関係者の間では当然の急成長であってもスタッフの隅々まで行き渡るのなかなか難しいものです。

さあ、9月16日のパプアニューギニア大使館主催39th アニバーサリーパーティーが楽しみになってきました。今までは母が気になって手が離せず、残念な思いで招待状を眺めていたのですが、その役目も二月で終止符が打たれました。寂しいけれどこれからはウエワクに眠る父に可能な限りの時間と心を寄せようと決心して旭川を出ました。

受付から会場までの美しいアレンジ花の長い列が私達を出迎え、親しみと華やぎの挨拶の声が飛び交い、オープニングを待ちながら進んだ中央には極楽鳥と国旗の氷像がメインテーブルで祝杯の時を待っているかのようでした。

PNG 側のご挨拶も日本側の挨拶もとても丁寧で、ひと一言が聞き取りやすく、しばらく疎遠になっていた私にも今日の現状がよくわかり<出てきて良かった>と思わせてくれました。乾杯の直後に始まったバンブーと歌は会場を暖かく包み、和やかな談笑の輪が小さくいくつもでき始めました。

巨大な鮪の解体と流れるようなすし職人の前が一番人気のようでした。私は会いたい方を探すのに夢中で人々の間を縫って歩くなかで、とても気になる女性のオーラに惹かれました。英語も話せないのに引き寄せられるように傍に行き、写真を撮らせて頂きお名前を伺うとタンザニアの大使でした。コーヒーのコーナーでは素敵な領事館の女性とお話する事もできました。この会場の優しい雰囲気は「みんなパプアニューギニアが大好き」という思いが一つになっているからなのでしょう。

39回目の独立記念日おめでとうございます。自然と共存しながら生きていたPNGの人々が心ならずも戦争や占領という他国の勝手な支配に翻弄された歴史から解き放たれたのですから、こんなに嬉しい記念日はありません。

そして、大切なこの日に関係者の皆様と同じ場所で同じ空気の中で時を過ごさせて頂けた事に感謝いたします。また、このような素晴らしいパーティーに御招待を頂いたドウサバ大使の御配慮に心より御礼申し上げます。

PNGと日本の絆の更なる深さと両国の繁栄をご祈念申し上げます。

松本大使壮行会開催

中村 彰（当協会事務局次長）

駐パプアニューギニア日本大使としてポートモレスビー赴任を目前にされた、松本盛雄新大使の壮行会が8月18日、11:00から霞山会館レストランピオニーで行われました。

実は、この10日前に行われた当協会主催（日本パプアニューギニア友好議員連盟、外務省、日本遺族会、東部ニューギニア戦友遺族会、全国ソロモン会、太平洋諸島センター後援）で、「安倍総理大臣のパプアニューギニア訪問の概要と成果を考える会」が行われ、当初の予想を遙かに超える参加者を得ました。この席で、パプアニューギニアへの赴任を前にされた松本盛雄新大使が参加され、パプアニューギニアに親近感を覚える会場の皆様に挨拶をされました。その席で「松本新駐パプアニューギニア大使の壮行会」が決まり、非常に短い準備期間で開催されました。

それにもかかわらず、大使壮行会は、東部ニューギニア戦友遺族会堀江会長、御遺族の方々、全国ソロモン会、当協会山下会長はじめ法人会員、理事有志合計27名もの多数の参加者を得ました。

松本大使からは、「今後、パプアニューギニアについては、ご自分も含めて日本で知られていない事もあり、お互いの国の人の交流が大切だと思う。そのためにも、パプアニューギニアのことをよく知ってもらえるように、日本からの観光客が多くなるように、日本からのビジネスが増加するために、大使館が前面に出て協力したい。また、TVや雑誌で公正、公明な発信がなされるよう出来るだけのことをしていきたい」との発言がございました。

更に、今般大使令夫人は大使の御着任には同行されませんが、少し後からポートモレスビー入りされ、現地で御一緒に過ごしになると思う旨、ご表明されました。



第6回 Toktok 会

美しい海と発展が共存する首都、 ポートモレスビーでの10年間とPNGの海の魅力

喜多村 裕介（当協会理事）

8月20日新橋の航空会館にて第6回「Toktok 会」が開催されました。今回は、ポートモレスビーにて10年以上単身でダイビングインストラクターを続けられている中浦景子さんが一時帰国されましたので、その機会にご講演をいただきました。

中浦さんは、ワーキングホリデーで行ったオーストラリアでダイビングインストラクターの資格を取得されました。日本への帰国の途中に立ち寄ったポートモレスビーのダイブショップで、英語の話せるダイビングインストラクターとしてその技術がかわれて就職され、現在はマネージャーをされています。

演題は、「美しい海と発展が共存する首都、ポートモレスビーでの10年間と、PNGの海の魅力」というものでした。冒頭で、ポートモレスビーの近況を説明していただきました。タウン地区に完成した最新のホテルや

ワイガニにできたというショッピングモールの様子をスライドで報告していただきました。

ポートモレスビーの治安の悪さは不変のようです。しかしながら、ジャクソン空港に向かうルートは、エリマを通らず、6マイルのセツルメントを経由した方が安全なのでお勧めしますとの報告には驚きでした。2008年10月まで滞在した私は、自分の運転する車で6マイルに行くことはあり得ないことでした。

PNGのダイビングについては、数多くのスライドでその美しさを紹介して頂きました。中浦さんと一緒にダイビングをした時に、指差しでその在りかを教えていただいても明確に確認できなかった「ピグミーシーホース」も大きくスライドに写して頂き、このように存在しているのかと再確認する事ができました。パプアニューギニアの海が懐かしくなるご講演でした。



安倍総理大臣のパプアニューギニア訪問の概要と成果を考える会

～日本とパプアニューギニアの新しい一歩に向けて～

川口 正義 (当協会理事)

29年ぶり！ 2014年7月、日本の首相として1985年
以来のPNG公式訪問をされた安倍首相は、2泊3日という
異例の時間を割いて日パ首脳会談から戦没者の慰霊等まで、
過去から将来に亘る大変意義深い交流を実現されました。そ
の成果を更に発展させることを目的として、日パ協会主催に
て当会が催されました(後援：日本パプアニューギニア友好議員
連盟、外務省、日本遺族会、太平洋諸島センター、東部ニューギニア
戦友遺族会、全国ソロモン会)。

当日は開場に100人を超える方が来場され、様々な分野か
らのご報告を熱心に聞き入っておられました。政治・経済分
野もさることながら慰霊・遺骨収集の分野まで、両国の多岐
に亘る深いつながりを改めて実感した会でもありました。ご
発表者のお名前と内容は右記の通りです。

なおご来賓として宇田川劔雄東京都遺族連合会会長、木内
均代議士、泉原保二代議士秘書、野口威光代議士秘書、山際
大志郎代議士秘書、成田俊幸日パ協会POM支部長もご参集
されました。

- ・村田 吉隆 (日本・パプアニューギニア協会名誉会長)：ご挨拶
- ・ガブリエル・ドウサバ (在日パプアニューギニア大使)：ご挨拶
- ・松本 盛雄 (駐パプアニューギニア・ソロモン大使)：ご挨拶
- ・尾辻 秀久 (日本遺族会会長)：ご挨拶
- ・長原 さおり：総理訪問の概要と成果について
(外務省 大洋州課 課長補佐)
- ・田中 和徳：今後の議連の役割について
(日本パプアニューギニア友好議員連盟会長)
- ・堀江 正夫：総理訪問と今後の遺骨収集事業について
(東部ニューギニア戦友遺族会会長)
- ・小川 和美：経済界代表団の総理同行取り纏めについて
(太平洋諸島センター所長)
- ・井田 徹：総理同行企業よりご報告
(晃和木材株式会社 代表取締役)
- ・吉田 互：総理同行企業よりご報告
(丸紅株式会社 顧問・市場業務担当役員補佐)



イレーネ賀集写真展「パプアニューギニアの蘭」に寄せて

高田 弘子 (当協会会員)

イレーネ賀集さんの写真展「パプアニューギニアの
蘭」が埼玉県鶴ヶ島市在住、植田早苗さんが経営する
ギャラリー明日荷にて開催され、多くのお客様を楽しませ
て下さいました。作品の多くはパプアニューギニアの
奥地にある「クレーター・マウンテン野生生物管理地
域」で人知れずひそかに暮らしている小さな蘭でした。
女性らしいタッチで撮られた花々に心癒された思いで
した。パプアニューギニアを知る由もなかった私が鶴ヶ島
市に15年間所蔵されていたパプアニューギニア民族造
形美術品の市民サポーターサークル、「ポリトライブ」

会員となりイレーネさん、植田さんと出会うきっかけ
となりました。イレーネさんは世界各国へ出向き、色々
な知識を得て私たちへのパイプ役的な人、植田さんは
実行力豊かで前向きな考えを持つ勉強家、二人ともお
話するだけで得ることの多い大切な友人であります。
思えばパプアニューギニアの精霊たちに魅せられ活動
してきましたことは、私の人生の1頁として大きな出
会いだったのです。これからも日本・パプアニューギ
ニア協会の会員として、パプアニューギニアとの関係
を持ち続けたいと思います。



北野建設は1946(昭和21)年に長野市において設立され、「顧客からの信頼を第一義に考え、高品質・高付加価値なものづくりに徹し、社会の期待に応え、ともに発展する」を経営理念に掲げ、創業以来一貫して信頼に応えるものづくりを心掛けてまいりました。創業と同時に東京へ進出することで、長野と東京の2本社制を敷き企業体質の強化を図る一方、早くより国際化にも積極的に取り組み、海外におけるプロジェクトの実績は大洋州・アフリカ・アジア・中米など40カ国以上に及びます。

また社会貢献活動にも積極的に取り組み、文化芸術事業としては長野市の善光寺表参道に歌舞伎座を思わせる外観の劇場「北野文芸座」を建設し伝統芸能を紹介するとともに、ウインタースポーツの普及振興に寄与するためスキー部を創設し、オリンピックをはじめとする国際競技大会に数多くの選手を輩出してまいりました。

パプアニューギニアにおける事業としては、日本無償資金協力として計画された「ブーゲンビル島沿岸道路幹線橋梁整備計画」を受注し、同島のブカからアラワまでの約180kmの幹線上に大小15橋の橋梁を施工、2012年に完工いたしました。既存道路は殆どが舗装されてお

らず、橋梁も一部整備されていない箇所もあり、河川を4WD車で強行渡河するような状況でした。又、既存の橋梁も老朽化が激しく簡易橋であったため、重量車両などが安全に通行できない状況であり、苛酷な環境下での着工でした。まずは、地元コミュニティとの折衝において、工事への理解と協力を得ることに注力しました。沿線のコミュニティは相当な数に上り、工事計画やその説明などにかかなりの時間を費やしましたが、地元説明や折衝などで一旦理解頂いた地域では、地域住民が「自分たちの橋」という意識を持ち、工事完工引渡後も地元コミュニティなどが沿道をきれいに保つよう率先して草刈りをしたり、花を植えたりして大切に管理しています。15の橋梁を建設する前はブカ～アラワ間が車で6時間以上かかっており、かつ増水時には通行不可能でありましたが、現在では半分の時間で安全に渡河出来る状態となり、地域発展にも貢献できていると考えています。

当社はものづくりを重視する技術集団を標榜し、継続的かつ一貫した人材育成により、地域社会やお客様に信頼される企業として持続的な事業活動を推進し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。



施工した15の橋梁の内の2橋

事務局からのお知らせ

本年最後の「ごらくちょう45号」をお届け致します。今年は、本当に多くの企画を主催することができました。個人会員、法人会員の皆さまに深く感謝いたしております。次回のToktok会は、来年1月頃に「パプアニューギニアの蝶について」のご講演を

頂く予定です。

メールマガジンでも御案内いたしました。当協会法人会員の鈴木瓦店の志村社長がポートモレスビーに「志村ロッジ」をオープンされます。PNG初のウォシュレット付き客室です。当協会のポートモレスビー支部も同ホテルに移動しますので、会員の皆さまはポートモレスビーへ御旅行の際には、是非

とも御利用ください。お問い合わせは当協会事務局でもOKです。

本号では、堀江正夫名誉顧問が日本PNG友好議員連盟の竹本直一先生と先生の機関紙内で対談された「パプアニューギニア戦」について、非常にわかりやすい内容になっているため、皆さまにごらくちょうに加えてお送りいたしました。御一読ください。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆法人会員：38社 ◆個人会員：138名 (2014年10月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-15 シティーマンション赤坂2階 日本ビジネスライン(株内)
Tel:03-5545-5100 Fax:03-3588-0776 E-mail:info@png.or.jp URL:<http://www.png.or.jp/>

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ